



# 麗紅(れいこう)

(清見×アンコール)×マーコット

果樹研究所口之津の育成品種。

樹勢は中、トゲの発生が見られるが、樹勢が落ち着くと少なくなる。

結実性は良好であるが、着果過多になると小玉果中心になり、また隔年結果するので結実管理には注意する。果皮は寒さに強いが、寒害を受けにくい地帯での栽培が向いている。

果実は200g程度で、果面は滑らかで紅が濃く外観良好。果皮薄くはく皮は容易。成熟期は1~2月、じょうのう膜が少し厚い。種子はよく入る。機能性成分の-クリプトキサンチンが多く含まれる。

命名後、まだ年数が浅いため栽培はまだほとんどない状況で、許諾を取った苗木業者で育成されている段階である。長崎や愛媛などで関心が高い。

果実品質は、無加温ハウス(高接ぎ)で糖度10.7(Brix)、クエン酸0.92%(2006.2.3分析、樹上着果)、露地(苗木)で糖度13.3(Brix)、クエン酸1.06%(2006.2.3分析、2006.1.20収穫)。





